プロパン産業新聞　2018 秋季特大号　抜粋

SPECIAL REPORT

米国のプロパンガス啓蒙状況から日本の在り方を考える

コーアガス日本の上薗CEOは、エネルギー自由化時代におけるサバイバルのポイントは、次の2点と強調する。

第1に、マクロ経済的な志向に走りがちな中央の発想の中で、ガス事業の地方合致の重要性をいかに立証するかという理論面。第2に、LPガスの無比な優位性に対して、経営者が揺るぎない自信を保持できるかという感性面。

そのために同様の課題を追求する海外業界との共同活動をとってきた。例えば、世界LPガス協会（WLPGA）主催のロンドンフォーラムでの講演、同協会が宣誓したLPガス憲章の邦訳と広報、米国LPガス協会（NPGA）の米国政府への嘆願書の紹介等々である。

本稿は、これらの活動の一環とも言うべきもので、その嘆願が州レベルで具体的にどのようになされているか、そして我が国においていかに生かすべきなのかを解き明かそうとする気鋭の論考であり、オバマ政権の環境重視型政策から、トランプ大統領のCO_2大幅削減緩和への大きな政策変更のうねりの中で、プロパンガスのあるべき姿が浮かび上がってくる。

米国コネティカット州
エネルギー環境保護省との全米プロパンガス協会の論争
2017年度総合エネルギー計画書案
全米プロパンガス協会が意見書を提出

我が国の模範となる、米国プロパンガス業界の自治体への啓蒙運動

株式会社　コーアガス日本
代表取締役　最高経営責任者
上薗　真歩

はじめに

私は、昨年9月に本件の責任者で、永年懇意にしているNPGAのシニアスタッフから、私への参考情報として、コネティカット州のエネルギー・環境省（Department of Energy and Environmental Protection、略称:DEEP）が策定した2017年度総合エネルギー計画書案の概要（2017 Comprehensive Energy Strategy, 略称:CES Draft Executive Summary）と、全米プロパンガス協会（National Propane Gas Association, 略称:NPGA）が同省に出した抗議文ともとれる意見書を受領しました。

米国では、連邦憲法や連邦政府が定める法律で定められたルールに基づいて、省エネルギーや温室効果ガス（CO_2）の削減対策は、各州が策定した基本計画により、州政府主体で実施されています。コネティカット州が策定した本総合エネルギー計画は、わが国政府が策定する“エネルギー基本計画”に該当すると言えます。

コネティカット州では、このCESに基づいて、エネルギーと環境保護政策が実施されています。CESは随時改定されることになっています。

第2次プロパンガス・電力の戦いに勝利して持続可能な成長

再生可能エネルギーの普及によって脱炭素社会が完全に構築されるのは、早くとも今世紀の半ばと予想されています。私は、分散型エネルギーの代表格であるプロパンガスは、少なくとも再生可能エネルギー万能時代に至るまでは、地球温暖化やエネルギー対策に貢献できる最良のエネルギーであり、その存在感は益々高まると期待しています。

また、プロパンガスは、政府の進める国土強靭化に貢献するのみならず、過疎・高齢化社会の地方にとっては生命線でもあります。

エネルギー政策関係者の再認識と、一般消費者が地球温暖化対策上プロパンガスが電気より格段に優れていることを理解することにより、住宅、商店・工場・病院、公共施設などでプロパンガスの採用が広がり、我々の業界の成長は継続するので、プロパンガス業界の将来性に対して私は確信を持っています。

おわりに

私は、省エネルギーや温室効果ガス削減対策として、家庭・業務用に使用されている電気をできるだけプロパンガスに替えることは、行政指導や消費者の意識改革如何によっては容易に実行が可能で、国益に適った方策であると確信しています。繰り返して申し上げますが、熱源として電気を使用した場合、電気はプロパンガスよりもはるかに多量の温室効果ガスを排出するのです。

また、NPGAのペトラッシ副会長も、2013年に米国環境庁に対して、プロパンガスの直接使用は省エネルギーと気候変動対策に有効であると提言しています。(プロパン産業新聞　2014秋季特大号　全米プロパンガス協会が米国環境庁へ提言を参照。)

わが国のプロパンガス業界にとって、プロパンガスが正当に評価されるか否かは、業界の将来を左右する極めて大事なファクターです。

私は、今年も4月のNPGAの総会・展示会行事に参加してきましたが、NPGAは、今後のプロパンガス業界について総じて意気軒昂ではあるものの、業界が受けている差別感については一貫して政府・環境保護庁等に対して抗議をしているのです。コネティカット州政府に真っ向から立ち向かうNPGAの純粋で勇敢なアクションには、評価すべき論点があります。

プロパンガス販売事業者の一人として、プロパンガスの電力に対する勝利が、プロパンガス業界の持続可能な成長と国益にも適うと確信しています。

今回、コネティカット州のDEEPとNPGAの論争を、わが国の問題になぞらえて、わが国のプロパンガス業界の持続可能な成長のための戦略を提唱しました。

プロパンガスに限らず、どの商売、商材も、光と影があり、どちらを重視するかで経営観が違って来ます。

プロパンガスの影は、消費量の減衰、過剰サービスによる経営圧迫、オール電化等々で、後継者問題も絡んで廃業者も増加しています。しかし、意外と光を重視する経営者は少ないと感じています。

光は、エネルギーの中での無比な優位性であり、これを諦めずに追求し続けることが、サスティナブルな事業に繋がるのです。その意味で、プロパンガスの将来は開かれています(プロパン産業新聞　2018年4月24日号　WLPGA役員との対談記事、プロパン産業新聞　2018新春特大号　WLPGA LPガス憲章記事等を参照。)

如何なる戦略、ビジョンもロマンと信念があってこそ生きるものです。

千年に一度の大震災に遭遇した業界人は、今こそ、プロパンガスの普及をミッションとして、熱狂的なプロパンガスの伝道師となり、アクションを起こすべきです。

意　見　書（抜粋）

2017年度総合エネルギー基本計画（Comprehensive Energy Strategy, 略称：CES）案の件

[redacted] 殿

10フランクリン　スクエア　ニューブリテイン、CT06051
エネルギー&環境保護省、エネルギー&環境保護局

●全米プロパンガス協会(National　Propane gas　Association,　略称:NPGA)は、コネティカット州のエネルギー・環境保護省(DEEP)から2017年度CES案に対して意見を述べる機会を賜りましたことを大変光栄に存じます。

●NPGAは、全米のプロパンガス業界を総括している団体で、約2800の会社系会員と、38の州個別のプロパンガス協会と複数の州を代表するプロパンガス協会の会員で構成されています。

他のエネルギーに比べて低廉、クリーン、そして信頼できるエネルギーであるプロパンガス

A.低廉なエネルギーであるプロパンガス

●プロパンガスは、家庭、業務、産業用としてプロパンガスを使用する消費者の燃料費節減のためにお役にたつことが可能です。

B.環境に優しいエネルギーであるプロパンガス

●合衆国の環境保護庁(EPA)は、プロパンガスが低炭素及び低温室効果ガス排出燃料であることを理由に、プロパンガスをクリーンな代替燃料として公認しています。

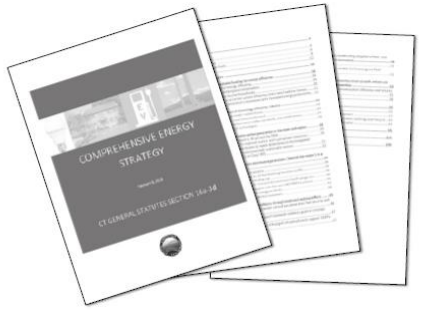
C.信頼できるプロパンガス

●末端ユーザーへの配送に関しては、導管供給システム、消費者のタンクに配送するバルク輸送もありえます。

結び

●全米プロパンガス協会は、DEEPが州の目標を達成するための戦略の一つとして、エネルギーや環境問題でプロパンガスがもたらすメリットを説明するために、CES案を訂正することを強く奨励いたします。

●特に、我々は、エネルギーの熱損失と温室効果ガスの排出を正確に評価するためにFFC分析の採用を推奨します。

●我々は、地域社会を支援すると同時に、州の目標達成の手助けとなるプロパンガス販売ネットワークを有用した官民協力の活動を押し進めることを要請します。

●最後に、我々NPGAは、ニューイングランド・プロパンガス協会のご意見を支持することを重ねて申し上げます。